

な・ち・ゅ・ら natura

地域と育む
魅力ある学校！

流山に密着した
生活情報誌を毎月無料で
ご家庭にお届けします！

アクティブスクール

地域連携

卷頭
特集

千葉県立流山北高等学校

新しいことはじめましょう♪
春のイチオシスクール
出会いと別れを華やかにいろどる
春の歓送迎会2019

地元の求人情報が満載！ JIMOJOB ジモジョブ



facebook やってます



Instagram フォローしてね♪

3

2019.Mar vol.21

総発行部数
61,000 部

無料各戸配布数 58,750 部
無料設置数 2,250 部

おいしいグルメを持ち帰ろう！
Take Out
自分にピッタリな職場を見つけよう
福祉のお仕事

フリモARを起動して
表紙全体にカメラを
向けてね!!



地域と育む

魅力ある学校

流山北高等学校 3年

名嘉 愛 Manami Naka

ニックネーム まな
好きな食べ物 お寿司、お肉

4	古	地	基	天	古	鑑
5	菜	体	動	総	日	度
6	英	規	體	LHR	規	LHR

卷頭特集

流山北高等学校 3年
大野 凜 Rin Oono

ニックネーム りんちゃん
好きな食べ物 オムライス

流山北高等学校 3年

松本 尚悟 Shogo Matsumoto

ニックネーム まっちゃん
好きな食べ物 から揚げ

地域連携 アクティブスクール

千葉県立流山北高等学校

千葉県教育委員会によって立ち上げられた「地域連携アクティブスクール」。

多様な生徒を受け入れ、地域と連携し、

生きる社会人を育成しようという意欲的な取り組みです。

平成24年度に県内2校からスタートしたこの教育システムは、

平成27年に流山北高校に導入され、その成果は生徒のみなさんの

生き生きとした表情にはっきりと現れています。



01

自立した社会人になるために 地域と学校が連携して生徒を応援

高校で力を發揮して頑張りたい。そうした意欲を持つ生徒に、地域と連携しながら学び直しや実践的なキャリア教育を行い「自立した社会人を育てよう」という教育システム「地域連携アクティブスクール」。平成24年度から千葉県の県立学校改革推進プランに伴いはじめられたこの取り組みは、平成27年に流山北高校にも導入されました。

現在の千葉県における高等学校への進学率は98パーセントを超えますが、その一方で、学校生活の中で力を発揮できない生徒も増えています。そうした生徒たちに自信を持つてもらおう、社会人として自立できる力を身につけてもらおう、それが地域連携アクティブスクールのねらいです。

お話をいただいたのは、流山北高校の奥山校長先生。

「以前には、英数国理社の5教科ができるいい大学に行けて、幸せな人生が送れると言われている時代もありました。でも今はそういうではない。ペーパーテストでは推し測ることのできない、人間性や人柄などの力が、社会人として仕事をしていくうえで非常に重視されている。地域連携アクティブスクールには、そうした近年の学力観の変化も大きく影響しています。」

と、取り組みがはじめられた経緯について語ります。

高校に入学し、これまで以上にがんばり、自立した社会人になろうという意欲ある生徒たちをサポートするために、実施されている取り組みは様々。その中で、ポイントになっているのが地域と一体となった教育です。

「大切なのは、高校の学びが将来どう役立つかを実感してもらうことです。それには学校職員だけでは限界がある。そこで、企業や地域住民の方々の力を借りて、地域全体で生徒たちを応援していく。それが、このシステムの大きな特色です」。



02

学びは学校だけでなく地域全体で 社会人の生きた言葉に触れる

勉強につまずいてしまった生徒をフォローする学習指導も、地域連携アクティブスクールの取り組みの一環です。「学び直しの授業でも、将来教職の道を歩みたい」という地域の大学生の力を借りています。生徒たちがどんなところでつまずいているのかを実際に知ることは、教員になるために大切な経験になる。そうした機会をもつてもらうことでも、相手の方々にもプラスになる関係であります」とお話しを始めた奥山校長先生。

そのお話をうけ、この取り組みが地域と支え合つたものであることがうかがえます。

また、学校の机の上だけに留まらない、実践的なキャリア教育にも力が入れられ、実際の企業で職業体験をするインターナシッピは2年生必須のカリキュラムだそう。「実際の職場で、生徒は社会人のプロの方々からいろいろな話を聞いてきます。たとえば、美容師になりたくて美容院で職業体験をした子が、店長さんから『美容師は、技術力だけなく、どんな人とも楽しく会話ができることが大切だよ』と言われる。それ以来、その

子はそれから様々な年代の様々な人と話ができるようにと、いろいろな本やテレビやニュースを見るようになったんです。そうした生きた知識や言葉は、学校ではなかなか教えることができません」。

そして、県内では前例のない流山北高校だけの取り組みも行われています。それが介護や認知症について学ぶ選択授業。高校3年の一年間を通して行われ、介護施設や支援センターで働く方々からの講義や、地域施設での介護体験など、様々な角度から学びを深めます。「講師の中には、流山北高校の卒業生もあります。先輩の後ろ姿を見て学ぶことで、『働く』ということを、より身近に実感を持つて学べるのではないかと考えています」。

先輩や地域から学び、学んだことを後輩や地域に再び返していく。

そんな循環がはじまっている

◀ 流山北高校の奥山校長先生。



03

**現場で実際の介護体験も
学んだことを地域へ返していく**

実際に授業を受けている生徒の方々からもお話をうかがいました。進路を考える際に、介護系にも興味があり、この授業を選択したという大野凜さん。3月に卒業を控える高校3年生です。「一番印象に残っているのは、介護の現場で実際に施設利用者の方々と接した経験です。普段はなかなか聞けない、昔の話が聞けてすごく楽しかった。これからのお仕事は直接授業とは関係ない職業ですが、この授業で学んだことは、これから的生活に必ず役立つ知識だと思います」。

春からは作業療法士の専門学校に進学する松本尚悟さんも、授業で行つたはじめての介護体験が記憶に残つていると言います。「もともと介護の道に興味がありましたが、実際に職場を体験することで、自分の将来の希望が

受けでもうえるような、そんな作業療法士を目指したいと思います」と話してくれました。

に、認知症について知つてもらえたのがとても嬉しかったです。授業で高齢者の方とお話をしたのも、思い出に残っています。最初は何を話したらいいかわからなかつたけれど、働くスタッフの方から『お年寄りは昔のことならよく覚えてる』とアドバイスされて、楽しく時間を過ごすことができました」。

実際に授業を受けている生徒の方々からもお話をうかがいました。進路を考える際に、介護系にも興味があり、この授業を選択したという大野凜さん。3月に卒業を控える高校3年生です。「一番印象に残っているのは、介護の現場で実際に施設利用者の方々と接した経験です。普段はなかなか聞けない、昔の話が聞けてすごく楽しかった。これから進路は直接授業とは関係ない職業ですが、この授業で学んだことは、これから的生活に必ず役立つ知識だと思っています」。

春からは作業療法士の専門学校に進学する松本尚悟さんも、授業で行つたはじめての介護体験が記憶に残つていると言います。「もともと介護の道に興味がありましたがあが、実際に職場を体験することで、自分の将来の希望が

言動が、将来を意識したものに変わってきていると感じます。それはやはり、学校だけではなく地域の大人たちが見守ってくれているという意識から来るもの。今は、学校側が受け取るものの方が圧倒的に大きいですが、いざれば力をかりた地域の方々に恩返しができれば。そうした思いで、これからも魅力ある学校づくりをしていきたいと考えています」。

今後、地域連携アクティビスクールを卒業した子たちが、実際に社会人として働いていくことになります。彼らがどんな社会人になっていくのか。そして、その後ろ姿を見ながら、これから生徒たちがどんなことを学んでいくのか。その未来は、すでに生徒のみなさんの生き生きとした姿に映し出されているようですね。

実際に授業を受けている生徒の方々からもお話をうかがいました。進路を考える際に、「介護系にも興味があり、この授業を選択したという大野凜さん。3月に卒業を控える高校3年生です。「一番印象に残っているのは、介護の現場で実際に施設利用者の方々と接した経験です。普段はなかなか聞けない、昔の話が聞けてすごく楽しかった。これからのお仕事は直接授業とは関係ない職業ですが、この授業で学んだことは、これからのお仕事に必ず役立つ知識だと思っています」。

春からは作業療法士の専門学校に進学する松本尚悟さんも、授業で行なはじめての介護体験が記憶に残っていると言います。「もともと介護の道に興味がありましたがあが、実際に職場を体験することで、自分の将来の希望がいると感じます。それはやはり、学校だけではなく地域の人たちが見守ってくれているという意識から来るもの。今は、学校側が受け取るものの方が圧倒的に大きいですが、いざれば力をかりた地域の方々に恩返しができれば。そうした思いで、これからも魅力ある学校づくりをしていきたいと考えています」。

今後、地域連携アクトエイブスクールを卒業した子たちが、実際に社会人として働いていくことになります。彼らがどんな社会人になっていくのか。そして、その後ろ姿を見ながら、これからのお仕事たちがどんなことを学んでいくのか。その未来は、すでに生徒のみなさんの生き生きとした姿に映し出されているようです。



文/狩野 わか 写真/大貫 史貴 デザイン/林 ひかり

地域連携

アクティブラーニングスクール

授業に関わった地域の皆さんに、授業を通じての感想を伺いました。

ハートケア流山
赤澤 健児 Kenji Akazawa

- 特技/趣味 サッカー、キャンプ
- 好きな食べ物 ラーメンと半ライス

この授業を通じて感じた事
高齢化社会の課題について無関心でしたが、私事として捉えるようになりました。との学生の声。若者の声が力となり、誰もが住みやすい地域に繋がっていくと思うと、頼もしく感じます。

流山北高等学校
上原 義信 Yoshinobu Uehara

- 特技/趣味 おりがみ、カブトムシ飼育
- 好きな食べ物 海鮮

この授業を通じて感じた事
介護や認知症サポートをするうえで、自己理解や他者理解などをしていくかなければならないという事が介護の技術だけではないということを知らされました。

流山市北部地域包括支援センター
石川 渉 Wataru Ishikawa

- 特技/趣味 サッカー、プレミアリーグ観戦
- 好きな食べ物 ヨーグルト

この授業を通じて感じた事
認知症について、高校生に知つてもらえただけでも嬉しい事でしたが、その高校生が『認知症センター』となって、自らの声で地域の方に認知症の理解を広めてくれたことに感動しました。

ハートケア流山
中島 友美 Tomomi Nakajima

- 特技/趣味 剣道
- 好きな食べ物 築前煮、白米

この授業を通じて感じた事
地域には介護の知識がないことで不安に暮らしている方が数多くいます。成長した学生さんが地域の不安を解決する有望な地域人財になることを楽しみにしています。

流山北高等学校
伏見 慎吾 Shingo Fushimi

- 特技/趣味 野球
- 好きな食べ物 おいしいお肉

この授業を通じて感じた事
最初は受け身なことが多かった生徒が、学習を通して社会について考え、発表していくことで大きく成長していく様子を見ることができました。

江戸川学園おおたかの森専門学校
野口 和江 Kazue Noguchi

- 特技/趣味 ジョギング(流山ロードレースにも学生と参加)
- 好きな食べ物 ポテトチップス

この授業を通じて感じた事
授業を通して、「他人事」だった福祉や介護といったワードやそこに伴う日本の課題が、「自分事」として少しでも身近に感じてもらえたなら嬉しいです。

アクティブラスクール!

地域連携

一年間の流れをまとめ、生徒一人一人が
力を合わせ制作しました！



おおたかの森専門学校の
先生の下
高齢者スツを着て
体験しました。



北部地域連携支援
センター長より
認知症サポート養成講座を
うけました。



Cool
ハートケア流山にて
高齢者カラ色々学びました。



1学期



1年間

地域連携
アクティブラスクール

LET'S
ENJOY

まとめ

1年間を通して認知症の理解度が
深まりました。地域の高齢者にも認知症と
ついて理解してほしいと思います。
今の世の中は少子高齢化が進んでいるので
近い将来に直面する問題だからこそ
身近に感じてほしいです。

介護R.O.B.I.T
(体験中)

文化祭で1学期に学んだことを
発表しました。
劇もまじいれてお客様にもおかれやすく
つたえることができたと思います！
介護R.O.B.I.Tの体験をやりました！

2学期

FUNNY



OH!

インバウンド



HALLS

